

# GU'DAY

IS NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION GUNMA UNIVERSITY'S MAGAZINE THAT PROVIDES RECENTNEWS



大学院食健康科学研究科誕生！



輝く群大生（サークル紹介）



最先端の研究・活動紹介

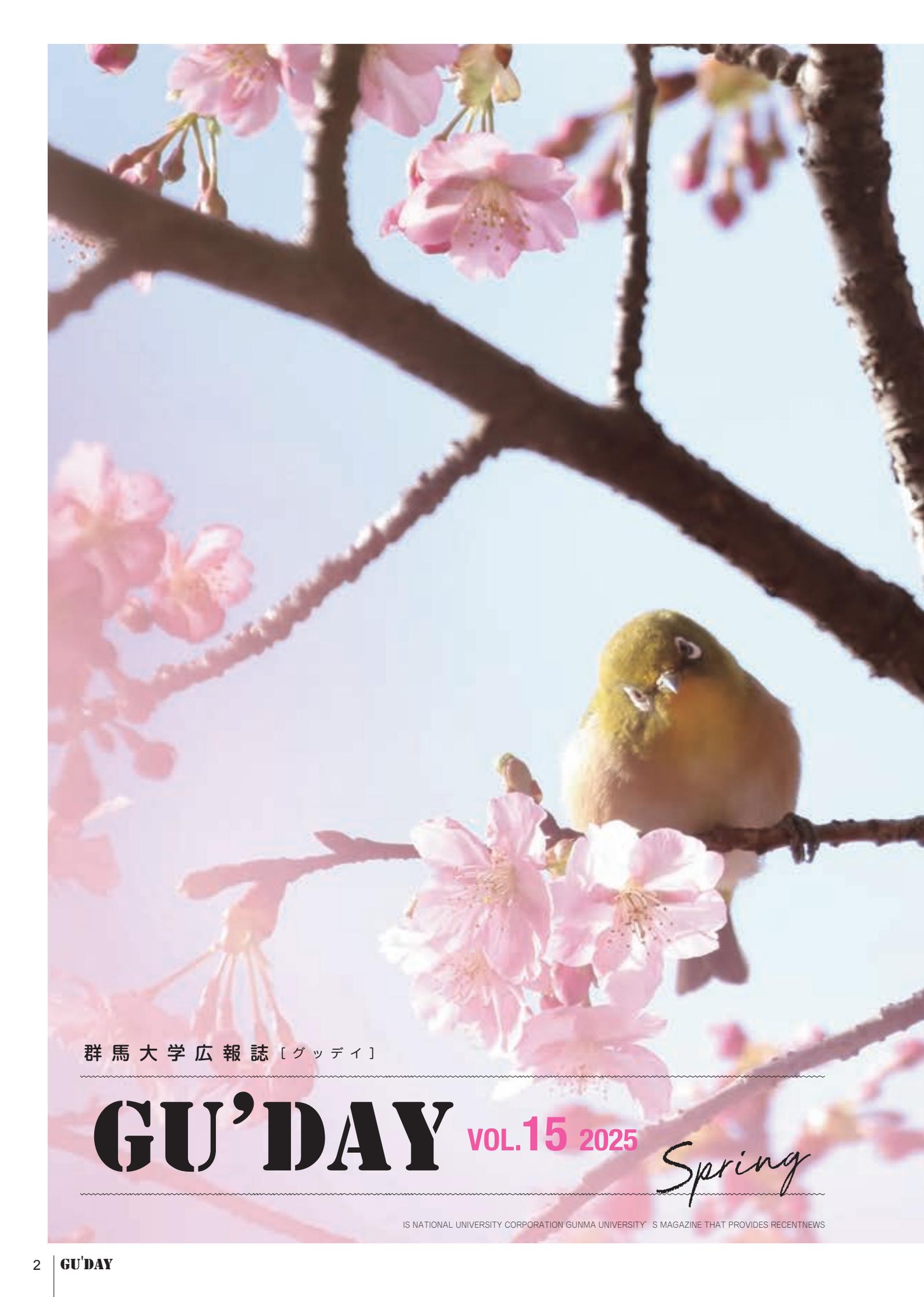
知・医療の拠点として、  
群を抜け駆ける世界を！



## 特集

「大学院食健康科学研究科誕生！」

- ★ 輝く群大生
- ★ 研究紹介
- ★ キャンパスライフ＆イマドキ！住宅事情



群馬大学広報誌 [グッデイ]

**GU'DAY**

**VOL.15 2025**

*Spring*

IS NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION GUNMA UNIVERSITY'S MAGAZINE THAT PROVIDES RECENT NEWS



## Contents

- p.04 ●大学院食健康科学研究科誕生！（今回の特集）
- p.06 ●輝く群大生
- p.08 ●Special Interview
- p.10 ●研究紹介
- p.13 ●施設探訪：総合情報メディアセンター中央図書館
- p.14 ●キャンパスライフ ～イマドキ！住宅事情～
- p.16 ●群馬大学最新ニュース
- p.18 ●ホームカミングデー2024報告
- p.19 ●群馬大学基金

写真の説明

春を迎え、咲き乱れる河津桜の枝上で羽を休める  
メジロを、近隣の自然豊かな町で撮影しました。

©2025 Fumiya Osawa. All Rights Reserved.

# 特集

# 群馬大学大学院

## 2025年4月開設

# 食健康科学研究科誕生！

## 《大学院食健康科学研究科のコンセプトについて》

2025年4月に開設される食健康科学研究科では、社会全体の健康および環境の健全性に焦点を当て、地球規模のヘルスイノベーションを目指しています。群馬県の産業の強みと群馬大学の研究の強みを活かし、食健康に関する高度な科学リテラシーを身に付けることで、産業復興や健康長寿社会を創出するグローバル人材を育成します。学部教育により培われた各分野の専門性を基盤に、食品工学から健康科学にまたがる横断的な高度専門知識を修得することで、「地球規模の課題解決や社会変革に繋がるヘルスイノベーションを創出する機能」と「地域社会との協働を通し、研究力を活かして地域課題解決をリードする機能」の両方を強化し、人類と地球の幸福度を持続的に高めるヘルспロモーションを牽引します。



### 育成する人材像

食健康科学研究科は、食を通じて健康を科学することや食に関わる健康増進に関する研究、食の生産・流通・消費に関わる環境の健全性や社会の健全性の維持・強化に取り組みます。学部教育によって培われた個々が有する保健学、食品科学、食品生産工学、環境科学に関する専門性を基盤に、食品工学から健康科学にまたがる横断的な高度専門知識を身に付けることで、人類の健康向上、脱炭素社会の実現等の世界規模の課題解決や、高付加価値食品の開発等による地域の産業振興に資する人材を養成します。

### 修了後の主な進路

大学・研究機関、官公庁、自治体、製造業、食品産業、医療機関、製薬業、医療機器メーカー、農協、農業法人、農業関連企業など

## 新入生インタビュー

interview

この春から、食健康科学研究科にて学ぶ新入生2名にインタビューを行いました。

4月から入学することへの意気込みや抱負をお教えてください。



黛 亮太さん  
(大学院 食健康科学研究科)

私たちの生活の基盤となっている健康の向上のため、様々な分野の横断的な知識を身に付けたいです。私は現在、生分解性プラスチックの研究をしています。環境保全の観点から非常に重要なテーマであるので、学修したことを活かして研究をさらに深めていきたいです！



福澤 美月さん  
(大学院 食健康科学研究科)

食健康について、特定の分野だけでなく幅広く横断的に学べることがとても魅力的です。今まで学んだ食品工学に加え、健康科学分野についても積極的に学修していきたいと思います。2年間はあっという間だと思うので、日頃からコツコツ勉強していきたいです！



### 食からはじめる。食から極める。

2025年4月に開設される食健康科学研究科  
新研究科長となる粕谷教授に、「食健康科学研究科」  
で学べる強みや学生向けのメッセージなどを伺いま  
した。

新研究科長 **粕谷 健一**教授  
(理工学府分子科学部門)

### —新設される「食健康科学研究科」で 学べることや強みをお教えてください。—

本研究科の一番の特徴は、食品工学と健康科学の両分野を横断的に学ぶことができるという点です。具体的には、食品科学、食品生産工学、医科学、保健学、環境科学を基盤とする幅広い学問を学修することで広い視野を持ち、高度な人材として活躍できるような学びを提供しています。また、本プログラムはキャンパスを超えて連携しているため、オンライン教育を採用しています。これは群馬大学初の試みであり、異なるキャンパス間とはもとより、大学外の施設からでも授業を受けることができるため、社会人に対しても開かれたプログラムとなっています。

本研究科の入学試験は柔軟性が高く、幅広い分野の方に来ていただくために、口頭試問型の面接をベースにしています。学びたいという強い意志がある方は、出身学部に関わらず大歓迎です。将来的な進路としては、食品、医薬品、化粧品、化学、高分子、健康などほぼ全ての「工学分野」を網羅しています。これらは「ものづくり」という点で全て繋がっており、就職先が非常に広いことが強みです。

また、近年データサイエンスの著しい発達により、情報系の分野にも力を入れています。膨大な量のビッグデータを活用する力が求められており、そのために必要となるデータ処理や統計学の基本となる考え方を学修します。理工学、医学、情報学の垣根を超えたその先に、私たちが求めているヘルスイノベーションが待っています。



食健康科学研究科のことを熱く語る粕谷教授

### —「食健康科学研究科」で学ぶことを 目指す学生に、メッセージをお願いします!—

食品工学分野から健康科学分野まで幅広く学び、食健康について高度な専門的知識を身に付けてほしいと思います。さらに研究をしながらフィードバックすることで、得た知識、技能を自分のものにし、それをベースに活躍していただけることを願っています。



取材の様子

### —文系から入学することは可能ですか。—

はい、可能です。理系文系の垣根を超え、理工学部、医学部、共同教育学部及び食健康科学教育研究センターの教員達が協力して立ち上げたプログラムであり、両方の分野を幅広く扱っています。文理関係なく入学できることも大きな特徴だと思います。

また、働きながら履修することも可能なプログラムになっています。「社会人の学び直し」に対しても開かれたプログラムであるため、社会人の入学者もいます。

このコーナーの取材を担当した  
学生広報大使



理工学部 物質・環境類2年  
**清水 世蓮**

今回の取材を通して、食健康科学研究科で学ぶことのできる分野の幅広さと専門性の高さには衝撃を受けました。食品工学系および健康科学系の知識を横断的に学修できる機会はとても貴重であり、思われた学習環境であると強く感じました。「地球規模のヘルスイノベーション」を目指す食健康科学研究科の活躍を心から楽しみにしています!

## “走れ” 群大有志チーム「GUFT」

ガフト



学生フォーミュラ日本大会に向け、ゼロから立案・設計・制作する「フォーミュラマシン」。様々な個性をもったメンバーが一丸となって取り組んでいるサークルです。学生フォーミュラに憧れ、群大を目指した学生も多く所属しています。

中心的役割を担うメンバーと顧問の小山先生にお話しをお聞きしました。

マシンのカッコよさ！や苦勞の過程を熱く語るメンバーのお話しは、さながら「プロジェクトX」の様でした。



部室前にて



マシンについて語り合うメンバー

## ★どのような活動をされていますか？

全日本学生フォーミュラ大会への出場を目標に、学生フォーミュラマシンを1年かけて一から設計・製作しています。CADソフトを使って図面を引き、部品形状を考えて設計から自分たちで行います。そして図面上で組み上げたものを実際に材料加工し、製作していきます。毎週1回ミーティングを開き、それぞれの進捗や相談を行い、土曜日にはみんなで集まって製作を進めていきます。設計・製作以外にも、資金集めや広報活動なども自分たちで実施しており、仮想ベンチャー企業のような活動も併せて行っています。

## ★マシンを作るためのノウハウはどのように獲得しているのですか？

先輩から受け継ぐというのがありますし、学生フォーミュラのスポンサー企業様から学ぶ機会をご提供いただくこともあります。例えば設計で使用しているCADソフトは企業から御提供いただいたものでして、併せてその講習会も開いてくださったりするので、そうした場で学びつつ、自分でやってみて「トライアンドエラー」で知識を得ていくというのが主な方法です。この例のほかにも自分達で使用しているエンジンをメーカーのエンジン整備工場で分解整備して、エンジンの仕組みを学びつつきちんと組み立てて使えるようにする講習会などもあります。

## ★GUFTの活動において大切なものは何ですか？

人とのつながりだと思います。コロナ禍では活動が停滞して、先輩方が積み上げてきたものをうまく引き継げなかった部分がありました。その状態からのリスタートでしたが、卒業生の方々や他大学の方などたくさんの方にお力添えをいただいて、もう一度自分たちで復活させたいと思ってここまでやってきました。そうした体験を通して、人とのつながりが一番重要だと思っています。

また、私たちはフォーミュラ大会の成績の中でプレゼンテーションの点数が高いのですが、これは、先輩方が強かった部分をうまく引き継ぐことができており、大会の度によりグレードアップして行って、改善を積み重ねてきた成果だと思っています。

## ★全日本学生フォーミュラ大会出場にあたってのエピソードを教えてください。

**金子代表**：私はマシンの電気装備を担当していますが、まずエンジンをかけてマシンを動かすことに苦勞しました。エンジンをかける上で電装ってすごく大切な部品なのですが、本当に何も知らない状態からスタートしました。とにかくエンジンをかけるために卒業生の方、時には他大学の先輩に来ていただいてなんとかメンバー達と苦勞して、エンジンを作り上げました。数ヶ月かけてようやくエンジンをかけることができた瞬間の感動を今でも鮮明に覚えています。また、大会に出場して出走する権利を2019年大会以降で初めて得られました。苦勞が報われ、先輩達に報告でき、本当に嬉しかったです。

**永田さん**：私はマシンのフレームと足回りを担当しました。今まであまり走らせることができていなかったこともあってタイヤとかサスペンションの選定は手探り状態で、中でも他のメンバーと設計をすり合わせながら形にしていくのが一番大変でした。あるはずの部品が組みあがったマシンにはないハブリングがあったりして、力を合わせてマシンを作っていく上でのコミュニ

ケーションの大切さを身にしみて感じました。

**小山先生**：大会規則で1回大会に出た車体は、全部作り直すことになっています。情熱を注いで組み立てたものなので、歴代のマシンを全て残しておきたいところではありますが、スペースの問題もあり残せていません。しかし、卒業生達の技術や思いを受け継いで、毎年、新たなフォーミュラマシンを産み出してきています。



取材の様子

## ★小山先生が活動を通じて感じることなどについてメッセージをお願いします。

**小山先生**：フォーミュラの大会で評価される項目は相当多岐に渡っています。コスト、総合性能、デザイン、機構部品製作などです。これらの幅広い知識が磨かれます。さらには資金調達面で、スポンサー様とのやり取りも学生自らやっています。これらの幅広い経験は社会ですぐ即戦力になれるようなものであり、座学のみでは勉強できないことです。また、横と縦の繋がりの大切さを知り、活動を通じて一生付き合える仲間が作れたらとても素晴らしいことだと思います。1年の時は右も左も分からず大会に同行するので精一杯だった彼らが、3年生になると下級生に的確に指示を出せるようになっていて、そんな成長ぶりを身近に感じる事が誇らしくもあります。

## ★GUFTに関心を持っている後輩へ、現メンバーからメッセージをお願いします。

GUFTは10月から次の年の9月を1シーズンとして活動していますが、いつからでも参加できます。先輩との活動や講習会を通じて学ぶたくさんの機会があり、車の仕組みを知らない人でも問題なくメンバーになれます。

我々のチームではXやインスタグラムによる情報発信のほか、オープンキャンパスや群桐祭、クラシックカーフェスティバルin桐生でマシン展示なども行っています。是非一度足を運んで見てください！

クルマをつくる、サークルです



GUFT公式リンク一覧

このコーナーの取材を担当した学生広報大使



大学院理工学部 理工学専攻  
電子情報・数理領域 1年

大澤 郁弥

全日本学生フォーミュラ大会では100チーム以上がエントリーして、そのうち走るチームが6割しかいないことを知りました。そんな中で大会出場権を得て、その後の車検を通過しマシンを走らせるところまでこぎつけることができたGUFTの底力とチーム力を感じました。「今年は走らせて完走させようぜ！」と語り合うメンバーの眼差しは真剣そのもので、GUFTの今後の活躍に期待大です！

# 輝く 群大生

フローオーケストラ



医学部を中心とした多学部による管弦楽団

# Flow Orchestra



サマーコンサート  
高崎市文化会館

医学部の学生が多いものの、共同教育学部、理工学部、情報学部からも多くの学生が参加し、多学部多分野の学生が一丸となって活動しているクラブサークルです。

定例で行っているサマーコンサート、クリスマスコンサートのほか、リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまで演奏したり、学会や老人保健施設、群馬県立小児医療センターで室内楽を演奏したりするなど、地域と密着した活動も多数行っています。

附属病院外来ロビーで実施している患者さん向けのクリスマスコンサートでは、毎年、院内が温かな音楽に包まれ、多くの患者さんが音楽を楽しまれています。

今回は、2024年度部長の須田さん、2025年度新部長の岩村さんと顧問の岩崎先生にお話しをお聞きしました。お話を聞く中で、3人音楽に対する熱い想いを伺うことができました。

## ♪ どのような活動をされていますか？

部員の多数は医学部の学生ですが、共同教育学部、情報学部、理工学部からも学生が参加しており、多学部多分野の学生が一丸となって練習に励んでいます。弦セクションと管セクションなど各パートに分かれての練習、また月数回全体練習も行っています。オーケストラだけでなく、吹奏楽アンサンブルでの演奏機会もあり、楽器演奏を楽しむことができます。また毎年高崎市文化会館での「サマーコンサート」と附属病院外来のロビーにおいてクリスマスコンサートを開催しており、コンサート前は全体練習の機会を増やして臨んでいます。2016年より指揮者として元群馬交響楽団クラリネット奏者の千葉理先生に御指導いただき、演奏に更に磨きをかけています。

## ♪ サマーコンサートやクリスマスコンサートの特徴 選曲は団員全員の投票で決まる！

**須田さん**：サマーコンサートはコンサートホールで、長い交響曲やクラシックの王道曲を演奏します。クリスマスコンサートは、親しみのあるオーケストラの曲を演奏します。今年は、美女と野獣やオペラ座の怪人を演奏しました。どちらのコンサートも来てくださる方を考えて実行委員を中心に企画しています。選曲は先輩後輩関係なく、団員全員で投票をして決めます。

## ♪ 4月からの新年度に向けた意気込み

**岩村さん**：12月末のクリスマスコンサートの後から部長になりました。今年は私と同じ学年の代が2人しかいないのですが、今年の演奏を充実したものにできるよう頑張ります！昨年から少しずつ新歓のイベントや合宿を再開したのですが、私の代で途切れさせてしまうと先輩たちが大変なので、去年先輩たちが始めてくれた様々なイベントを定着させることが目標です。

現状維持は停滞につながってしまうので、今年はサマーコンサートやクリスマスコンサートを



合宿での合奏の様子



クリスマスコンサート  
群馬大学附属病院

より盛大に行いたいと思います。新しいイベントを始めるのは難しいかもしれませんが、イベントもよりブラッシュアップしていけると思うので、多くの先輩方や後輩たちと協力して新たな部活づくりに力を入れたいと思います。



取材の様子

## ♪ 活動を通して感じることやフローオーケストラに興味のある学生へメッセージ

**岩崎先生**：オーケストラのとても良いところは、全員で音を合わせて演奏することです。全員で一丸となって素晴らしい演奏を奏でることができた時の感慨は素晴らしいものです。

また音楽を通じて、他学部・他分野間の人が集まり交流することで、幅広い見識を持つことにもつながります。このような経験は、学業など他の部分でも良い影響が出ているようです。

楽器経験のない人でも、オーケストラに興味を持ってもらえるようであれば、ぜひ群馬大学に入学してフローオーケストラに入っていただけならと思います。

**須田さん**：私は、入学する前に大学のパンフレットでフローオーケストラの先輩が載っているページを見たのがきっかけで楽団に入りました。中学では楽器経験があったのですが、高校ではやっていませんでした。大学で、また音楽をやってみたくて入りました。フローオーケストラで先輩との繋がりもできて、大変なこともあります。楽しいことが多いと感じています。ぜひ一緒に演奏できたらと思うので、高校生のみなさんも興味を持ってくれたら嬉しいです。

**岩村さん**：私は高校でバイオリンをやっていて、大学でも楽器をやりたいと思って入りました。オーケストラをやれるサークルは貴重です。厳しいオーディションとかではなく、温かく受け入れてくれるアットホームな雰囲気のサークルなので、興味のある方は、是非一度見に来ていただき、入っていただけると嬉しいです！



フローオーケストラ公式SNS

## このコーナーの取材を担当した 学生広報大使



医学部 保健学科2年

関口 知香

私自身、中学・高校時代に吹奏楽をしていたこともあり、コンサートや定期演奏会の運営方法や部の雰囲気についてお話を伺い、みなさんが音楽に真剣に向き合いながら楽しく活動されている様子が伝わってきました。

楽器を持っていない場合でも楽器をお借りすることができるため、音楽に興味がある人は、是非Flow Orchestra (フローオーケストラ) に足を運んでみてはいかがでしょうか。その際には、岩崎先生のとっておきの経験談を聴く機会に恵まれるかもしれません。

次回の演奏会は、2025年7月12日高崎市文化会館にて、サマーコンサート2025を開催予定とのことです。詳細はフローオーケストラ公式SNS等でご確認ください。

# 学生広報大使が聞く！ Special Interview



群馬大学と「最先端の倉庫内自動運転システム」の研究を進めている株式会社ボルテックスセイグン代表取締役社長武井宏さんにお話を伺いました。



株式会社ボルテックスセイグン  
代表取締役社長  
**武井 宏さん**

## Profile

1946年生まれ。1968年株式会社ボルテックスセイグンに入社。  
1988年に社長就任。2016年から群馬県トラック協会会長。  
趣味はゴルフ。  
安全第一主義を基本理念に、物流の自動化に取り組む。  
好きな言葉は、「縁」

### ▶自動運転システムについて、群馬大学とプロジェクトをはじめたきっかけを教えてください。

国内物流の93%はトラックによる輸送です。人間の体に例えると道路が血管でトラックが血液の役割を果たしています。今後、少子高齢化が進み、人手不足が明らかになる中で、トラック輸送による物流をいかに持続可能なものにするかという課題は、日本にとって極めて重要な問題です。

このような課題に直面する中で、地元の群馬大学が自動運転の研究を進めているとの情報を知りました。物流の自動化についてお話をしたところ、ぜひ共同で研究を進めませんかとお誘いいただき、実証実験を一緒に行うこととなりました。

### ▶どのような形で研究を進めていますか。また、全国からも非常に注目されているとお聞きしていますが。

群馬大学の技術を基に、実際に社内の倉庫場内で無人トラックを動かしながら課題を一つ一つ解決しています。すでに、実用化段階に入っており、有人のトラックと併用しながら、積載稼働テストを行っています。注目度は非常に高いようで、全国から官公庁関係者や企業関係者が頻繁に見学に訪れています。今後も群馬大学と連携して開発を進めていきます。

### ▶今後の大きな目標は？

最終的には倉庫場内のみではなく一般道路の走行を目指しています。場内には7m20cmの公道が一部にあり、限定的に許可をいただいて、無人トラックを走らせていますが、特定区間であったとしても一般道路での自動走行が実現すれば、近接する倉庫間の自動物流が可能になり、実用化のメリットがより広がります。

### ▶武井さんが一番大切にしている安全第一主義について教えてください。

色々な挑戦をしている弊社ですが、従業員の安全を第一に考えています。人間の命ほど大切なものはないのです。企業には、社員が安全に作業できる環境を整える責任があります。また、運転手の安全意識を高めるための取り組みも行っています。これらの取り組みは、企業として一番大きな役割であると考えています。

その一例が、運転手の安全チェックのデジタル化です。入社後のアルコール検知や体温はもちろん、静脈認証や血圧測定結果をシステムで集約してリアルタイムで詳細にチェックしています。この取り組みは社会的にも高い評価をいただいています。

## ボルテックスセイグンの取り組み見学



自動運転トラックに試乗



安全装置などの説明を受ける様子



最先端の倉庫内自動運転システムの視察



実際の荷物の運搬の様子も見学

現在は、さらに進んだ形を模索しています。運転中の運転手が身につけているウェアラブル端末から健康状態を継続して測定し、健康状態の変化を把握しつづけることで、重大事故を未然に防ぐシステムを検証中です。



取材の様子

▶ **新たな取り組みを目指す学生へのメッセージをお願いします。**

社会に出て大切なことは、社会に対して自分達がどんな役割を背負っていくのか、だと私は思います。社会の誰かに喜んでもらえる人になるということが非常に大切だと思います。そのために大学の勉強はベーシックな部分で非常に重要です。自分自身を見つめて、自ら勉強し、自分自身を伸ばし続けられる人を目指して日々研鑽を続けてください。

このコーナーの取材を担当した  
学生広報大使



情報学部 情報学科3年  
**國枝 美玖**

まず、実際に目にした物流施設は広大でした。自動運転トラックにも試乗させていただき、最先端の自動運転倉庫を見学する体験をさせていただけたことは貴重な財産となりました。

自動運転トラックの未来を大きく感じるとともに、改めて物流業の大切さを再認識しました。働く人々の安全を最重要としながら、省人化や輸送の効率化に向けた取り組みを加速させている株式会社ボルテックスセイグン、地元群馬にこのような素晴らしい企業があることを強く認識した取材でした。



**大注目★施設！「CRANTS」**  
クランツ

次世代モビリティ社会実装研究センター（CRANTS）は次世代の移手段を研究するセンターであり、社会実験を通して新しい交通システムの実証と社会への普及や社会課題の解決を目指しています。

その取り組みの一つとして、バスの自動運転技術をトラックへ活用した物流の自動化があります。その技術について株式会社ボルテックスセイグン、CRANTS 所属の教員とともに研究を進めている太田直哉名誉教授（前 CRANTS センター長）にお話を伺いました。



テレビ会議システムを体験

▶ **具体的には、どのような開発・研究を行っているのでしょうか。**

CRANTSには、バスの自動運転化を進めてきた基本技術がありました。この技術を活用する形で、トラックの自動運転化の開発・研究を進めています。

▶ **本プロジェクトの目標は？**

CRANTSの特徴は社会実装にあります。新たな研究を行い、業務を効率化するための技術や物を開発します。そしてさらに、研究成果や技術を社会実装する。社会で実際に活用し、結果を出すところまで実現します。

今回のプロジェクトでもこの点を重視しています。物流業界で働いている人々にとって実際に役立つかということが極めて重要です。

▶ **CRANTS と株式会社ボルテックスセイグンとのプロジェクトはどのようにして始まりましたか？**

物流業界は、少子高齢化の影響のためドライバー不足が既に大きな課題となっています。また、現在働いているドライバーの労働環境の改善を進めていくためにも、自動運転技術の活用は非常に有効な方法と思われました。このような状況の中で、株式会社ボルテックスセイグンの代表取締役社長をされている武井様から、大学にお声がけいただき、本プロジェクトは始まりました。



自動運転バスの見学



自動運転のハンドル型  
電動車椅子の試乗

**Message**



次世代モビリティ社会実装研究センター センター長  
**天谷 賢児教授**

CRANTSは、自動運転技術や各種次世代モビリティを開発し、それらを社会に実装する研究を行っています。これには、実際の現場での実証試験が欠かせません。CRANTSは株式会社ボルテックスセイグン様とパートナーを組んで、私たちの社会を支えている物流産業の様々な社会課題の解決に、これからも取り組んでいきます。将来、興味のある学生さんとも一緒に研究できれば嬉しいです。

このコーナーの取材を担当した  
学生広報大使



情報学部 情報学科3年  
**國枝 美玖**

荒牧キャンパスの施設内で、新しい交通手段の研究開発が日々進んでいると思うと、とても頼もしく感じました。実際、自動運転のハンドル型電動車椅子（シニアカー）や高精度なテレビ会議システムを体験しました。テレビ会議の臨場感は、画面越しですが、まるで対面しているかのような距離間で相手を感じることができました。CRANTSでの日々の研究が社会に普及して、便利になる日も近いと感じる取材でした。

## Research Activities

脊椎疾患は頸椎から腰仙椎まで、お子さんからご高齢の方まで、幅広い領域の疾患があり、その患者さんの数は年々増えています。整形外科には、県内外から幅広い疾患の患者さんが来院され、日々最先端の治療が行われています。

近年新たな診療体制を構築し、患者さんと共に歩み早期回復を目指す整形外科脊椎脊髄グループにお話を伺いました。



大学院医学部研究科・整形外科

筑田 博隆 教授



医学部附属病院・整形外科

三枝 徳栄 講師



医学部附属病院・整形外科

高澤 英嗣 講師

## 子供から高齢の方まで年々増加する脊椎脊髄損傷の患者さんと共に歩む ～新たな診療体制を構築し早期回復を目指す整形外科脊椎脊髄グループ～

### 研究概要

脊椎脊髄損傷は交通事故や転倒、スポーツ中のけがなどで背骨が骨折・脱臼し、脊髄が損傷を受ける重いけがです。脊髄とは背骨(脊椎)の中を通っている小指くらいの太さの神経で、脳からの運動指令を手足などに連絡したり、逆に手足からの感覚刺激を脳へ伝達したりする重要な役割があります。けがでこの脊髄が損傷してしまうと、損傷を受けた部分より先の部分の感覚が分からなくなる。手足が動かせなくなる。横隔膜や肋間筋が動かせないために呼吸が困難になるなどの深刻な後遺症を引き起こすことがあります。日本では脊髄損傷は年間5000例ほど発生しており、若年から高齢者まで幅広い世代で発生していて、日常生活や就職・結婚など人生に大きな影響があります。

脊椎脊髄損傷にはこれまで受傷早期の治療法が確立されておらず、医療機関ごとに手術やそのタイミングについての判断は異なっていました。そこで、群馬大学と東京大学の研究グループは全国43施設において、ランダム化試験を行い、非骨傷性頸髄損傷(骨折のない頸髄損傷)に対する早期手術の有効性を世界に先駆けて示しました。

ところが、実際に患者さんへの早期手術体制を調査したところ、早期手術が行える病院は国内に4分の1もないとのことが判明しました。その理由としては、救急病院でかつ脊椎外科の専門医がいる施設が限られていること。ガイドラインがないこと。脊椎脊髄損傷の患者さんに早期手術が必要であることが認識されておらず早期手術の体制が整っていないことなどです。

そこで、群馬大学では脊椎脊髄損傷の新たな診療体制として、「SCI-FLOW」を策定し2024年12月から運用を開始しました。SCI-FLOWは、患者さんの救急搬送から診断、手術、集中治療までの流れを標準化し、治療を効率化します。具体的には、救急科、整形外科、脳神経外科、麻酔・集中治療科などの他職種専門スタッフからなる診療チームが一丸となり、患者さんの状態に応じた最適な治療を迅速に提供します。

このような他職種連携型の診療体制は全国的にも珍しく、群馬県では初の試みとなります。SCI-FLOWの運用から、治療までにかかる時間がどの程度短縮できたか、患者さんの回復の状態はどうかなどを評価しエビデンスとして示すことで、他の病院でも脊椎脊髄損傷の早期手術が実現できるように研究を進めています。

### 整形外科に興味をもったきっかけを教えてください。

**筑田教授**：もともとは心療内科の世界にも興味がありました。学生時代にボートをやっていて、4人で大会に向けて練習に取り組んでいました。チームで取り組み達成することにやりがいと喜びを感じていました。整形外科は一人で治療することもありますが、多くの場合は仲間がいて、みんなで患者さんの治療について相談し、手術について、みんなで振り返りを行います。チームで一丸となって患者さんに寄り添う治療スタイルが自分の性に合っていたように思います。また、整形外科では疾患に対して様々な治療のアプローチが取れます。患者さんがどのような生活をしたいのかを伺った上で治療方法を考えるという点に重点を置いています。

**三枝講師**：自分自身もスポーツをしていたのですが、怪我が多く、整形外科をよく受診していました。この経験から、全ての人々が元気に歩いて一生を終えられたらという想いで整形外科を目指しました。一日でも長く元気に、全ての人々が歩いて過ごせる世界を目指すことが自分の大きな目標であり、患者さんにそれを届けることができればと願っております。

**高澤講師**：“幸齢化”という言葉が私は好きです。幸せに年をとることなのですが、そのためには自分で歩けるということがとても大事になり



取材の様子



ます。楽しいことをして、おいしいものを食べて、人と交流して…。命があるだけではできないことが実は多いのです。整形外科では骨折などの手術をし、患者さんが歩けるようになって、再び幸せな世界にお戻りになる。患者さんと共に治療に取り組み、幸せをお届けできる。このような整形外科にとっても魅力を感じて、整形外科医を志しました。

### 臨床研究に興味をもっている学生に一言お願いします。

**筑田教授**：過去に、私自身が大きな病気を経験する中で、臨床研究による答えを待っている患者さんが多数いるということを感じました。この経験から現在は臨床研究に力点を置いています。

ある臨床研究の結果が出たときに、同じ目標を持って患者さんを治療していたとしても、医療機関によって研究結果から導く治療のアプローチが異なってくることもあります。患者さんの状態に合わせて、早期手術を進める医療機関もあれば、逆に1年で患者さんの回復の程度が追いつく場合には、待機してから手術することを選択する医療機関もあります。この異なったアプローチの情報を共有して、より良い方向性を確立していくことは、臨床研究において非常に重要です。決めつけをせずに、多面的に患者さんに寄り添いながら最適な臨床を模索する。非常にやりがいのある研究です。

**三枝講師**：臨床研究には日々新しい発見があり、患者さんに大きなものを届けられると思います。臨床研究は、国内、世界中の患者さんを助けられる土台になると思います。目の前にいる患者さんと遠くにいる患者さんの両方を助けられる。臨床研究は非常にやりがいのある仕事だと思います。

**高澤講師**：現在実施しているSCI-FLOWもそうですが、自分たちがやっていることは本当に正しいのかを評価して、改善することは研究につながります。最終的には患者さんにフィードバックすることなので、きちんと振り返りをして良い方向に医療を進めていく上で臨床研究は非常に重要だと思います。特別なことと思わずに、より良い治療を患者さんにお届けするために研究すると考えることが大切だと感じています。



このコーナーの取材を担当した  
学生広報大使



これまで臨床研究を行っている先生から直接お話を伺う機会があまりなかったため、今回の取材を通じて、臨床と研究を両立することでそれぞれに良い影響を与え、最終的に良い治療へとつながっていくことを実感しました。SCI-FLOWは取材時点では導入から間もない段階だったので、今後の研究の進展にも注目したいと思っています。

医学部 保健学科2年

関口 知香

脳の守護者ミクログリア、このグリア細胞は保護作用(良い面)と損傷作用(悪い面)を併せ持っている。しかし、保護作用のみを強化することができれば、革新的な脳疾患治療法への道が開かれる。



大学院保健学研究科・大学院食健康科学研究科

大西 浩史 教授

## ミクログリア活性化の制御メカニズムを解明し、ミクログリアの保護作用を強化する分子ツールの開発・活用を目指す！

### 研究主旨・目的

脳に存在するグリア細胞の一つであるミクログリアは、普段は脳に異常がないかを監視していますが、ストレスや感染などで神経細胞が損傷すると活性化します。活性化後のミクログリアには、2つの作用が発生し、神経細胞の生存や修復を促進するサイトカイン等を放出して保護する作用と、炎症性サイトカイン等を放出して炎症を引きおこし、損傷を悪化させる作用の両方が起こります。この2つの作用のうち、損傷作用は、アルツハイマー病やうつ病などの悪化に影響を及ぼしていると考えられています。この2面性を持つことから「諸刃の剣」に例えられることもあります。(図1参照)

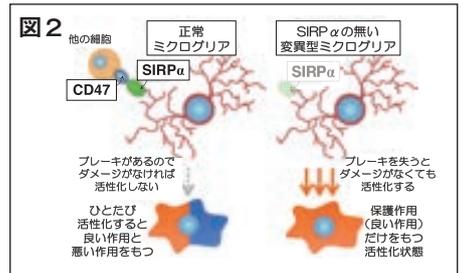
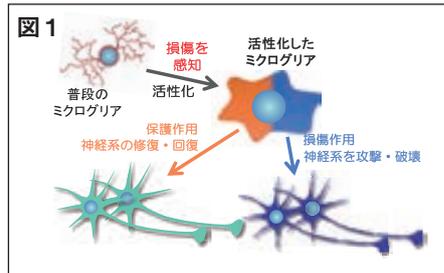
アルツハイマー病の脳や老化後の脳などでは、活性化したミクログリアが現れ、保護作用と損傷作用の両方の働きが報告されています。この活性化がどのような仕組みで制御されているかが分かれば、活性化したミクログリアの保護的な作用を強化して、病気や老化から脳を守ることが可能となります。

日々研究する中で、ミクログリアが普段の健康な脳の中で不必要に活性化しない様に“ブレーキ”をかけている新しい仕組みを見出しました。この“ブレーキ”は、特にミクログリアの保護的な活性化(保護作用の強い活性化)を抑制している仕組みであると考えられました。この仕組みを解除すれば、ミクログリアの保護作用が強化され、変性疾患や老化による脳の損傷を修復する応用面への展開が期待できます。

### 研究概要と今後の展望

今回の研究では、ミクログリアの細胞表面にあるSIRP $\alpha$ と呼ばれる分子の働きに注目しました。遺伝子操作によって作成したミクログリアのSIRP $\alpha$ を欠損させたマウスの脳を観察したところ、脳内白質に損傷が認められないものの、ミクログリアが活性化している様子が見られました。この活性化ミクログリアを解析したところ、老化後の脳や多発性硬化症などで脱髄が起きた脳に現れる活性化ミクログリアに似た特徴を持つと分かりました。通常、老化後の脳や多発性硬化症などで脱髄が起きた脳で活性化したミクログリアは損傷作用を起こすと考えられますが、この変異マウスの白質は正常な状態が保たれており損傷作用は見られませんでした。さらに、この変異マウスで実験的に脱髄を誘導すると、脱髄の軽減(保護作用)がみられました。

これらの結果から、SIRP $\alpha$ 欠損マウスのミクログリアは、保護作用を持つが損傷作用は持たず、またSIRP $\alpha$ 欠損マウスでは組織損傷がなくてもミクログリアが活性化していることから、SIRP $\alpha$ はミ



クログリアの活性化のブレーキとして働いていることが示唆されました。(図2参照)

今後は、SIRP $\alpha$ 欠損ミクログリアの誘導・作用メカニズムの解析を進め、活性化ミクログリアの保護作用のみを強化することを実現し、様々な革新的な脳疾患治療法開発の起点となることを目指します。

### 大西先生が、脳や遺伝子の研究に興味を持ったきっかけについて教えてください。

タンパク質の構造解析などに長く取り組む中で、分子の集合がどこから命を持つのかということに興味がありました。そこで細胞や脳などの分子の集合体を研究したいと考え、SIRP $\alpha$ について調べ始めたことがきっかけです。私たちは何でできているか。色々細胞を並べたら命になるか。そんな哲学的思考も持ち合わせながら、日々、脳の中の研究を進めています。

### 遺伝子研究などをめざす学生へ一言メッセージをお願いします。

受験や就職など人生で選択を迫られることは多いと思います。僕は自分が正解の選択ばかりをしてきたと思いません。ですが、自分で選んだことなので失敗しても後悔はしていません。もし後悔するとしたら、ワクワクしたり面白そうだと思ったりしたことを選ばなかった時だと思えます。自分の好奇心や興味のあることを大切に、一歩踏み出してチャレンジしてほしいです。研究には誰も知らないことが展開されていく喜びやワクワクがたくさんありますよ！

今回、授業でお世話になっている大西先生の研究について取材する機会をいただき、大変光栄に思いました。脳や神経細胞については知らないことばかりでしたが、取材を通してミクログリアについて知り、とても興味深く感じました。また、この研究に至った経緯や今後の展望など、普段は聞くことのできないお話を伺うことができ、大変貴重な経験となりました。なお、本研究成果は、イギリスの生物学総合誌である国際オープンアクセスジャーナル「eLife」にも掲載されています。

医学部 保健学科2年

關口 知香



取材の様子

このコーナーの取材を担当した学生広報大使



# Research Activities

「覚える社会科」から「考え、解決を目指す社会科」へ、  
子供一人一人が解決志向型思考を持ち、  
問題解決できる力を引き出す教育指導を目指して！



共同教育学部社会科教育講座  
宮崎 沙織 准教授

## 社会科の「理想とする問題解決的な学習」とは何か？を追求して

### 現在の社会科教育について

現在の社会科教育では、世界の現状を理解し、課題を認識するところまでは行われているのですが、ここまでで終わってしまうことが多く見受けられます。

例えば、世界中で貧困に苦しむ人がいるということを理解し、この問題を解決したいと認識するところまでは、多くの方が理解しています。そして、「アフリカの地域で貧困が起きている」という現状を理解し、貧困が起きているからお金を送ろう！と送金するという行動を起こせる人もいます。

しかし、「貧困を起こさないためのシステムづくりに、あなたはどの貢献していきますか」と聞くと、「どうするのが良いかよく分からない」という回答が返ってきます。

この状況は、課題があるという現状把握はしっかりできているが、解決策を考える学習機会が少ないため、課題を根本的に解決するという能力が磨かれていないことから生じているのではないかと考えられます。

そこで宮崎先生は、解決策を考えていくことを中心とした、10年後20年後を意識した社会科学習について、研究を進めています。

### 解決志向型教育を受けた子供たちは、社会に対する向き合い方が変わっていきますか。

まだ、始めたばかりですが、一緒に勉強しているドイツの地理教育の先生が行ったところ、子供たちの向き合い方に変化を感じたとのこと。また、自分達が課題を解決し、様々なアイデアを出していくことが大事だという意識が芽生えたという報告もあります。現場の先生に授業をしてもらうなかで、子供達は1年間を通して社会科は、自分たちが解決策を提案する主体になる授業だという認識に変化していくようです。

### 解決志向型「問題解決的な学習」を実践する先に目指すものは…

貧困問題や飢餓、多文化共生、森林破壊、脱炭素社会や気候変動に関わる自然災害など悲観的なニュースが多く流れる中で、私たちは未来に対して暗いイメージを感じるようになっていま

す。そんな中で、一番は前向きになってほしいという思いがあります。解決志向型の教育を行うことで、一人一人がその先の未来を作っていくのだという意識が変わっていく。そのためには、教える側も、現状の覚える社会から未来を考えながら覚えていく社会にという形に、意識改革していくことが重要です。



取材の様子

### 最後に、宮崎先生のような社会科の教育研究を目指す学生に一言お願いします。

私は、自分が経験したことがすべてではなく、学びは常にシフトすることが大事だと思います。社会、時代の変化に私たちが合わせ、未来を考えながら変えていかなければならない。

また、社会科において、子供たちの活動で、フィールドワークを大切にしていきたいと考えています。新型コロナウイルスの影響で外へ出ることが難しくなり、社会経験で問題を見つける機会が減っています。社会の中を探検することで作られる空間認識というものが、社会への興味に繋がるが多くあります。

子供たちには、これまでの社会の枠組みやプロセスにとらわれない自由な発想で、より良い社会を目指す社会的事象の新規性の発見と追求をしてもらえたらと常々考えています。

### このコーナーの取材を担当した学生広報大使



情報学部 情報学科2年  
佐藤 琴美

小・中・高生時代を振り返ると「社会科＝覚える授業」という認識が強く、ひたすら覚える作業の繰り返しと感ずることが多かったです。

宮崎先生の取材の中で、未来を作ること意識した社会科授業の研究が行われていることを知り、大きな意識改革を感じました。社会科の授業を通して、生徒一人一人の未来の課題解決力が育つことは、非常に重要なことだと感じました。

## 中央図書館

群馬大学には3つの図書館があります。このうち荒牧キャンパスの中央図書館は、約33万冊の蔵書を有しており、毎日多くの学生たちが足を運んでいるお薦めの施設になっています。また、学外機関とも連携して、非常に魅力的な企画展示を年間を通じて行っています。

## 魅力1 季節ごとにさまざまなイベントを開催、交流の場としての図書館

一人暮らしや群馬県での生活を楽しむための本や新入生向けの図書を取り揃えた「春の新生活応援フェア」に始まり、群馬県の古墳発掘の父尾崎喜左雄博士展、妖怪展とミニレクチャー、郷土かるた、新春書道展など様々なイベントが年間を通じて開催されています。

昨年開催した「ウクライナDAY in 群馬大学」のイベントは、大盛況のうちに終了しました。ポーランドでウクライナ支援を続ける坂本龍太郎さんがオンライン登壇して講演され、参加者からは様々な支援の形を学ぶ良い機会となったとお声をいただきました。また、妖怪研究家の市川寛也准教授による講演は、夏の夕方に妖怪研究の奥深さや面白さに触れることができる、人気の企画です。是非みなさん足を運んで下さい。



図書館を巡りながら本の魅力を語る様子



春の新生活応援フェア4～5月

## 魅力2 本好きなスタッフが魅せる本の紹介企画

学生選定図書を並べた本棚や学生がお薦めする「推し本」の紹介する常設コーナーには、思わず手に取りたくなるバラエティーに富んだ本が並べられています。最近ではテーマだけを表示した袋に、館内掲示中の「私の推し」本と、図書館員の推し本を合わせて3本入れて貸出す「推し袋」企画が、密かな人気を呼んでいます。利用者からは、普段の自分好みの本だけでなく、わくわくした冒険感を見出し、新たな興味を持って本を読めるとの声が寄せられています。どんな本が入っているか、借りてからのお楽しみとなります。



取材の中でお薦めの本を語る山内さん



## 魅力3 中央図書館の魅力をズバリ！学術企画係長：山内さんに聞く

様々な分野の本に囲まれながら、好きなだけ過ごせるという素敵な空間それが図書館です。自分の欲しい本が無かった…。そんなときは！外部の図書館から取り寄せてもらって借りることもできます。好きな本を静かな環境で好きなだけ読める！こんな環境は学生時代の特権です。社会人になると時間の制約が多くなり、図書館や本屋さんで縁遠くになってしまうこともあります。今という時間を大切に！学生時代にぜひたくさん本に出会ってほしい。山内さんからの皆さんへのメッセージです。



学生選定図書が並ぶ本棚



推し本コーナー



ウクライナDAY in 群馬大学

中央図書館は、本の魅力にあふれた空間です。スマホやインターネットに慣れ親しんだ生活の中、敢えて図書館で活字を読む！イベントに足を運んで、知識を深めることの大切を再認識しました。さっそく私も山内さんお薦めの本を借りました。



推し袋企画

私は普段から中央図書館を利用する機会が多いのですが、イベントや本の紹介をしていただく中で、今まで知らなかった新たな魅力を発見することができました。配信サービスなどが多い中で、自分の手で好きな本を好きなだけ読めるという環境は貴重です。今後も中央図書館を大いに利用したいです！

情報学部 情報学科2年

佐藤 琴美

このコーナーの取材を担当した  
学生広報大使



中央図書館は、在学生・教職員以外の学外者の方も利用可能です！詳しくは、以下Webサイトなどにてご確認ください。

- Webサイト： <https://www.media.gunma-u.ac.jp/>
- 図書館ブログ： <https://blog.media.gunma-u.ac.jp>
- X公式アカウント： [https://x.com/Media\\_Gundai](https://x.com/Media_Gundai)



# イマドキ！住宅事情



群大生に聞いた！実際の一人暮らしって、どんな感じですか～？

## REAL MY LIFE #1

お気に入りの雑貨や小物に囲まれて、ゆったりとした時間を過ごしています！

((この物件に決めた理由・ポイント))

check!

- セキュリティ重視。
- 1年生のうちは荒牧キャンパスと昭和キャンパスの両方に通うことを考慮した距離の家探し。
- 自炊を頑張るため、キッチンの作業スペースの広さやコンロの口数もお部屋を選ぶときの大切な基準。

### Q1 この部屋のお気に入りポイントは？

- ◆南向きに大きい窓があって、日当たりがよくて、昼間は明るいところが好きです。日当たりがよくて気持ちよく、休日はベッドで本を読んだりして過ごすことも多いです。
- ◆棚の上は好きなアイドルやバンドのグッズと友達や家族がプレゼントしてくれた可愛いお気に入りのアクセサリーや雑貨を飾り、癒されています。
- ◆冬はとても寒いのでエアコンのほかにコタツを使っています。寒い外から帰って来てから温かいコタツでゆっくり過ごす時間が大好きです。



イニシャル：H.T (出身地/茨城県)  
(昭和キャンパス通学)

### Q2 一人暮らしで楽しいことは？

- ◆月に一回程度の友達との夕食会兼お泊り会のゆったりタイムが毎月の楽しみです。メニューは事前に相談しておいて、スーパーに買い物に行くところから、普段は面倒な夕飯の準備も楽しめちゃいます！少し高いアイスとお菓子も奮発しちゃいます。

### Q3 いつからお部屋探しを始めましたか？

- ◆お部屋探しは、推薦入試の合格発表後すぐに始めました。気になる物件が複数あったので、二回ほど群大に来て内見をしました。

### Q4 普段の食事はどんな感じですか？

- ◆もともと料理をすることが好きだったので、食事は基本自炊で頑張るようにしています。実習やテスト期間など勉強で精いっぱいの際は、コンビニを利用したり、学校で夕飯をすませます。買い物は、週に一回近所のスーパーに行つて、一週間分の食材をまとめ買っています。



- 間取り例…1LDK
- 家賃…47000円
- 通学時間…昭和キャンパスまで徒歩15分
- 1ヶ月の収入…バイト代5万円 仕送り7万円
- 1ヶ月の支出…食費3万円、消耗品1万円
- 駐車場、駐輪場…駐輪場あり、駐車場は希望者のみ(一日レンタルも可)
- インターネット環境…個人で契約

## REAL MY LIFE #2

窓から見える景色を眺めながら、お家時間を楽しんでいます♪

((この物件に決めた理由・ポイント))

check!

- オートロック、食事付きの物件であること。
- 家電付きの物件であること。  
(理工学部であるため、レンタル家電があると、2年生以降で過ごす桐生への引っ越しが非常に楽であると思ったから。)

### Q1 この部屋のお気に入りポイントは？

- ◆2018年完成の学生マンションで、お部屋がきれいであることです。
- ◆最上階の4階で、セキュリティ対策が万全であり、榛名山などきれいな景色が毎日見えるところ。
- ◆トイレとお風呂が別であることもポイントでした。



### Q2 一人暮らしで楽しいことは？ また学んだことなど。

- ◆自分の時間がたくさんあり、外食したり、友達と遊んだり、好きなペースで行動できることが楽しいです。
- ◆お金の計画的な使い方を、一人暮らしを通して学びました。

### Q3 いつからお部屋探しを始めましたか？ またアドバイスなどあれば教えてください。

- ◆3月の合格発表後すぐに部屋探しを始めました。個人的には、大学やスーパーに近い物件が便利で、おすすめです。

### Q4 普段の食事はどんな感じですか？

- ◆普段の食事は、平日の朝と夜はアパートで出る食事で、昼は学食です。土日はアパートでの食事が出ないため、自炊を行っています。(冬は温かい一人鍋が多いです。)



アパートでの食事



学食



自炊 鍋

ワンルーム型 洋室6畳(専有面積 18.24㎡)  
家賃 40,000円  
通学時間 荒牧キャンパスまで自転車で7分

一ヶ月の収入  
バイト代 約6万円  
奨学金なし  
仕送り：家賃、水道光熱費、食費などの生活費

一ヶ月の支出  
家賃 40,000円  
水道光熱費 10,800円  
食費 22000円(朝、夜)、昼食は学食定期  
娯楽費や欲しいものは、バイト代でやり繰りしています。

駐車場、駐輪場あり  
インターネット無料

# 学生寮について

群馬大学の学生寮には、前橋地区に**養心寮** 桐生地区に**啓真寮**の2つがあります。

監修：群馬大学学務部学生支援課

## 養心寮

養心寮は、前橋市にあり、寮から荒牧キャンパスへはバスで15分、昭和キャンパスへは、徒歩10分です。鉄筋コンクリート3階建(収容人員男子74名、女子62名)



で居室は個室です。食事の提供はありません。

個室設備は、荷物用ロフト・エアコン・アンテナ端子・コンセント2箇所(計6個)があり、各居室にインターネット配線が設備されています。

なお、利用する場合は本人による所定の会社等との契約(有料)が必要です。また、寮内に共同利用施設として談話室・浴室・洗濯室・洗面所・補食室が設けられています。

寄宿料は、月額4,300円で他に自治会費(2,400円/半期)及び光熱水費(8,000円/月)がかかります。また、最初の月のみ入寮費として別途3,000円を徴収します。入居対象者は学部生(理工学部(工学部)2年時以上は除く)であり、募集は新入生(編入生)が対象です。(年度途中で空室が生じた場合は在学学生を対象に募集を行います。)

## 啓真寮

啓真寮は、桐生にあり、桐生キャンパスへは徒歩約15分です。鉄筋4階建ての全個室で、バス・トイレ・キッチンを備えた



ワンルーム型の居室が35室、バス・トイレ・キッチンを各フロアで共有するシェア型の居室が54室あります。

各居室には、エアコン、アンテナ端子、インターネットの配線が備えられています。(インターネットを利用する場合は、本人による所定の会社との契約(有料)が必要です)

また、寮内には共同利用施設として多目的ホール、ラウンジ、LDK、洗濯・洗面・シャワー室、トイレもあり、セキュリティ対策として、管理人による管理業務、各階ごとのICカード扉、夜間警備システム、防犯カメラ等を備えています。

寄宿料は、ワンルーム型が月額25,000円、シェア型が月額15,000円で、他に共益費が月額1,500円と、光熱水費、入居時にクリーニング代として寄宿料の1か月分がかかります。

学生寮に関する詳しい情報は大学のホームページを御覧ください。

<https://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/stu004/g2001>



## お部屋選びのポイントが知りたい!

監修：群馬大学生協

### 1. 下見をしてから契約しましょう!

前の在学生が居住している場合もあるので、お部屋の中までは見れないこともあります。周辺環境も含めて、下見をしましょう。お部屋の内見ができる場合には、メジャーとカメラを持参して部屋の寸法などを確認しましょう。

### 2. 早めの行動が鍵!

良い物件からどんどん埋まっていきます。合格が決まったらすぐに動きましょう!

### 3. 理工学部生は2年次から桐生キャンパスになるので、1年次は前橋に住み、2年次に桐生に住み替えをする学生が非常に多い。

理工学部の1年生を対象に、5~6月に大学生協が桐生住まい探しセミナーを開催しているので、ここで話を聞いてから部屋探しをすると便利。

### 4. 医学部生は2年次から昭和キャンパスになるが、同じ前橋市内なので、住み替えをする学生は多くない。

#### 主に学ぶキャンパス

学 部	1年次	2年次以降
共同教育学部	荒牧キャンパス(前橋)	荒牧キャンパス(前橋)
情報学部	荒牧キャンパス(前橋)	荒牧キャンパス(前橋)
医学部	荒牧キャンパス(前橋)	昭和キャンパス(前橋)
理工学部	荒牧キャンパス(前橋)	桐生キャンパス(桐生)

ここからは部屋選びの細かなポイントを紹介します。

#### ■立地

2年次以降は、研究活動などで帰りが遅くなることも…。キャンパスから近いことは重要です。

また、スーパーなど生活に必要な施設が近隣にあるかも確認しておきましょう。

#### ■インターネット環境

インターネット無料のアパートも多いです。ただ、入居者全員で使うような時間帯は重くなる場合もあります。

#### ■間取り



#### 風呂・トイレ独立型

群大生の多くが住んでいる、いわゆるワンルームタイプ。6~8畳の居間に台所、バス、トイレという間取りが一般的だが、二部屋あるタイプも。下の表にある通り、群大生の平均的な家賃は3万円から4.5万円だ。また、洗濯機置場がベランダや玄関前といった室外設置のアパートもあり、家賃は若干低めだ。

#### 風呂・トイレ一体型

いわゆるワンルームタイプだが、風呂・トイレ・洗面台の3点が一体のユニットバス。ビジネスホテルをイメージするとわかりやすい。水回りの掃除が一か所ですむなどのメリットもあり、独立型に比べて家賃が若干低めなアパートが多い。

#### ■電気容量

意外にエアコンに炊飯器と同時に動かすとブレーカーが落ちてしまう…。なんてことも20~30Aあれば安心です。

#### ■洗濯機

群馬では洗濯機が室外設置のアパートも多いです。洗濯機を買う前に置き場を確認しておきましょう。

#### ■台所

お部屋によってはガスコンロが予め設置されているものもありますが、もし無い場合は自分で用意することになります。「都市ガス」か「プロパンガス」かのチェックもおきましょう。

オール電化のお部屋も増えています。IHの場合は、対応する調理器具を買わなければいけないかどうかチェックしましょう。

#### ■コンセント

家電が多いと意外に不足しがちなコンセント。部屋に6口ぐらいあれば十分ですが、少ないようなら延長コードの準備をしましょう。

☞参考：お部屋探しのお手伝いをしてくれる大学生協も活用できます!

群馬大学生協では、荒牧・昭和・桐生の各キャンパス毎に、群馬大学生に人気の物件を多数御紹介しています。扱っている物件は、近隣の多くの不動産屋さんから情報をいただいているので、複数の不動産屋さんを回らなくても一気に見学ができますので、効率的に住まい探しをしていただけます。

また、群大での生活を一番知っているのは、先輩学生です!先輩学生に大学のことや周辺の情報、一人暮らしのコツなどを相談できる「群馬大学生協の新入生サポートセンター」もありますので、是非ご利用ください。(なお事前の来場予約が必要です。)

▼詳しくは、以下をご確認ください。

text.univ.coop/puk/START/gundai/

大学生協 はこちらから

群馬大学生協 新入生 検索

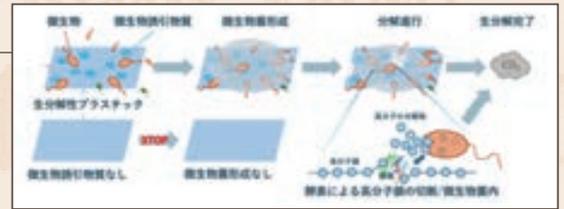


▶2024.7/10

大学院理工学府と海洋研究開発機構は、海洋での生分解性が低い化学合成脂肪族ポリエステルを、海洋で速やかに生分解させることのできる新しい技術の開発に成功しました。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/181826>



▶2024.7/19

パブリックヘルス学環設置記念セミナーを開催しました。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/181756>

▶2024.8/23

群馬大学が提案した、県内の未利用資源を活用して新規事業を萌芽させる活動計画が、群馬県「再生可能エネルギー・脱炭素化研究開発等助成金事業」に採択されました。



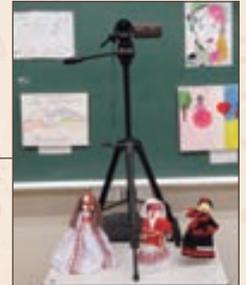
<https://www.gunma-u.ac.jp/information/185291>

▶2024.9/3

令和6年度群馬大学地域貢献事業として、8月25日(日)に「ウクライナ DAY in 群馬大学」を開催しました。群馬大学では、2022年6月から、ウクライナの学生・研究者を受け入れており、ロシアによる侵攻が長期化する中、同国の現状や伝統文化を伝え、心を寄せてもらおうとトークイベントやワークショップ、展示会を企画しました。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/185689>



▶2024.9/13

群馬大学の教育プログラムが、2024年8月27日付けで文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）プラス」に選定されました。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/186415>

▶2024.9/25

群馬大学未来先端研究機構は、ウイルスベクター開発研究センター開設5周年を記念し、9月25日(水)に東京・虎ノ門でシンポジウムを開催しました。



<https://www.giar.gunma-u.ac.jp/report-giar-symposium-vcv/>

▶2024.10/9

次世代モビリティ社会実装研究センター「CRANTS (クランツ)」と宇都宮大学ロボティクス・工農技術研究所「REAL(リアル)」は、令和6年9月26日に連携協力協定を締結しました。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/187420>

▶2024.11/6

群馬大学の長期的なビジョンを明確にするために、「群馬大学将来像～2040年に向けて～」を策定しました。将来像では、本学が2040年に目指す姿について「教育」「研究」「社会貢献」「運営」の4項目ごとに4つの目標を設定しています。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/188025>

▶2024.11/20

次世代モビリティ社会実装研究センターと桐生市、地域企業など産官学民で開発してきた「低速電動バス」に関連する取り組みが、JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)の令和6年度「STI for SDGs」アワード優秀賞を受賞しました。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/188563>



生体調節研究所 佐々木 伸雄 教授(粘膜エコシステム制御分野)が2024年の Highly Cited Researchers に選出されました。

Highly Cited Rereacherは、科学研究の各分野において高い影響力を持つ科学者を過去10年間の論文の引用データから分析し、論文の被引用回数が上位1%に入る論文を複数発表している傑出した科学者を選出しています。佐々木教授は2022、2023年にも選出されており、今年で三年連続の快挙となります。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/188610>

▶2024.11/26

群馬県との意見交換会を開催しました。

群馬県からは、山本知事、津久井副知事、宇留賀副知事、関係部長が出席し、本学からは石崎学長、林理事、花屋理事、坂本理事、齋藤理事が出席しました。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/189115>

▶2024.12/13

「カルテ共有」が外来患者さんにも拡大されました。

患者参加型医療の取り組みの1つとして実施されていた患者さんによる診療記録(カルテ)の閲覧が、外来患者さんにも拡大されました。



<https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/?p=17755>

▶2024.12/16

群馬大学が開発した土壌改良材を使って群馬県沼田市で生産されたお米(真田のコシヒカリ小松姫)が、12月6、7日に山梨県北杜市で開かれた「第26回米・食味分析鑑定コンクール:国際大会」に農業生産者6名から出品され、全員が最終審査まで選出されることとなり、様々な部門で「金賞」「特別優秀賞」を受賞しました。



<https://www.gunma-u.ac.jp/information/189444>

## 荒牧祭(学園祭)とホームカミングデーを同日開催

### 2日間の来場者は、7,888人と大盛況

2024年11月16日(土)荒牧キャンパスにて、荒牧祭2024とホームカミングデーを同日開催しました。大学会館ミューズホールでは、群馬大学の元教授であり、現在は、自治医科大学学長の永井良三先生をお招きして、「日本の大学と大学病院の課題」と題した特別講演会を開催しました。多くの同窓生・在学生・教職員が聴講する中、これからの大学病院が目指すべき方向性や若手研究者の育成、学術研究のあり方など多岐にわたる知見をユーモアを交えながらお話しいただきました。

キャンパスツアーは学生広報大使のガイドにより、馬術部や次世代モビリティ社会実装研究センター(CRANTS)や紅葉深まる荒牧キャンパス遊歩道などを回るコースで行われ、多くの同窓生や高校生が参加しました。様変わりした現在のキャンパスを楽しんだ後に懇談会も行われ、ツアー参加者と在学生の交流が深まりました。

荒牧祭では、学生によるイベント、模擬店の出店があり、多くの来場者で賑わいました。天候にも恵まれ、今年の荒牧祭のスローガンである『燦然(さんぜん)：キラキラと光り輝く』のとおり、学生一人一人が、荒牧キャンパスで主役として輝いていた2日間となりました。



多くの来場者で賑わった荒牧祭



リニューアルされた遊歩道で自然を散策する



CRANTSでの説明を熱心に聞く参加者(キャンパスツアー)



## ホームカミングデー 学生広報大使企画

### キャンパスマップ作成企画

文書作成チームの学生広報大使が、同窓生向けに最新のキャンパスマップを作成しました。各キャンパスならではの施設紹介や、学生が良く利用している場所の紹介や学生おすすめのランチメニューの掲載など、それぞれのキャンパスの特色が出ているマップに仕上がりました。大学ホームページに掲載するとともに、キャンパスツアー当日も配布したところ、卒業生の方から「キャンパスライフを想像できるマップになっている」との嬉しいお声をいただきました。



- 荒牧キャンパスマップ作成者／佐藤 琴美さん  
(情報学部情報学科2年)
- 昭和キャンパスマップ作成者／関口 知香さん  
(医学部保健学科2年)
- 桐生キャンパスマップ作成者／清水 世蓮さん  
(理工学部物質・環境類学科2年)  
／柴田 倭吹さん  
(理工学部物質・環境類学科2年)

### キャンパス紹介動画作成

動画作成チームの学生広報大使が中心となり、同窓生向けに現在のキャンパスを紹介するために、荒牧キャンパスの紹介動画の作成を行いました。最近様変わった場所に加えて、昔からある懐かしい施設も御紹介しています。卒業生の方からも「時代の変化も感じられる良い動画」との嬉しいお声をいただきました。



撮影の様子

- 荒牧キャンパス紹介動画作成者／高岡 史弥さん  
(情報学部情報学科3年)  
宮澤 懐那さん  
(情報学部情報学科2年) ほか



情報学部 情報学科3年  
國枝 美玖

キャンパスツアーのアテンドに参加し、参加者の方と交流しながらキャンパスを回ることができたため、とても有意義な時間になりました。新たな群馬大学の魅力に気づくこともできました。

# あなたの寄附が群馬大学の未来を創る

## 群馬大学基金に寄附をいただいた主な企業・団体様（敬称略）

### 一般財団法人同愛会



群大生の皆さんの  
修学生生活を支援します。

### 上武印刷株式会社

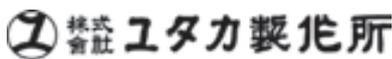


群馬大学生として  
誇りを持って、  
それぞれの場  
でご活躍ください。

### 株式会社大協精工



### 株式会社ユタカ製作所



充実した学生生活を送れるよう応援しています。

### 医療法人春光会宮久保眼科



皆様の学生生活が充実したものになり  
ますように応援しております。

### 小林工業株式会社



群大生の更なる活躍を応援しております！

### 医療法人たばた小児科

## 医療法人たばた小児科

### 群馬トヨペット株式会社



### 株式会社木村鋳造所



### 株式会社シィオ



### 伊勢崎ガス株式会社



### 東京パーツ工業株式会社



当社は、車載関連部品の製造会社で  
す。生産は、海外工場が主体となっ  
ており、海外で働くことに興味がある方  
も是非一度見学してみてください。

### 丸三飲料株式会社



### 植木プラスチック株式会社



弊社は真空圧空成形の技術の蓄積により安定成長してきました。  
この業界の日本一を目指し研究開発を続けています。将来を担う  
学生の皆さん！是非ものづくりの現場を見学に来てください。

### 医療法人吉野医院

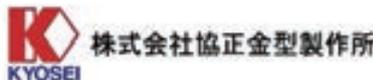
## 医療法人吉野医院

### 株式会社アプリス



群馬大学生の皆様が創造する未来を応援しています。

### 株式会社協正金型製作所



皆さんの未来を応援しています。



- 株式会社日本キャンパック
- しげる工業株式会社
- 株式会社ヨーユーラポ
- あかぎ信用組合
- 群馬大学共同教育学部同窓会
- MIC システム
- 株式会社登利平
- 株式会社キンケン
- 有限会社柏屋

- 株式会社吉田鉄工所
- 医療法人社団昇龍会
- 医療法人至誠会大久保クリニック
- 邑楽館林農業協同組合
- 池下工業株式会社
- 株式会社サンコー・インダストリアル・オートメーション
- 太田市農業協同組合
- 株式会社山口不動産

- 株式会社野村建設工業
- ぐんまみらい信用組合

匿名希望の企業・団体  
3法人

※2024年1月～2024年12月にご寄附を  
いただいた企業・団体様を掲載しており  
ます。

引き続き群馬大学基金への皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

## 群馬大学基金Webサイト

ご寄付はWebからお申込みいただけます  
クレジットカード・コンビニ・銀行振込 対応

群馬大学基金

検索

<https://kikin.gunma-u.ac.jp/html/method.html>



## Photogallery

フォトギャラリー

【表紙の写真】

【目次の写真】



学生広報大使兼  
桐生写真部

撮影 大澤 郁弥さん

桐生写真部  
アカウント

X :@gust\_photo  
Instagram:@gupt\_kiryu.gallery

## Back number

バックナンバー

<https://www.gunma-u.ac.jp/outline/out009/guday>



### 読者の皆様へ アンケート御協力をお願い

群馬大学広報誌「GU'DAY」を御覧いただきありがとうございました。  
よりよい広報誌作成のため、簡単なアンケートに御協力ください。アンケートは3分ほどで終わります。

### 群馬大学オリジナルグッズプレゼント！

アンケートに御協力いただき、プレゼントに応募された方の中から抽選で  
合計20名様に「群馬大学オリジナルグッズ」をプレゼント！是非御応募ください！

**プレゼント応募締切：2025年5月31日**

回答方法：QRコードを読み取って回答してください。

応募方法：アンケートの最後に必要事項を記入してください。



\\ Newデザイン//



星野富弘氏クリアファイル (A4)  
「桃」「くちなし」「あさがお」  
※デザインは選べません。



桐生織 × 星野富弘氏コースター

群馬大学卒業生の詩画作家星野富弘さんの作品「さざんか」を、群馬県桐生地域の特産品である桐生織で織り上げました。



桐生織 × 星野富弘氏トートバッグ  
(限定 10 名様)



群馬大学広報誌

**GU'DAY** [グッディ]

発行元：国立大学法人群馬大学総務部総務課広報係

発行日：2025年3月

TEL：027-220-7010 (7011)

Email：s-public@ml.gunma-u.ac.jp

URL：<https://www.gunma-u.ac.jp/>

#### ●表紙の説明

今回の広報誌「GU'DAY」は、知・医療の拠点をテーマに、実社会で活用し貢献できる研究や取り組みを通じて、「是非もつと群馬大学を知ってもらいたい！」そんな想いを持って、学生広報大使が中心となって作成しました。表紙は、各取材後の先生や学生と、学生広報大使との笑顔のショットを掲載しています。是非ご覧ください。